

牛海綿状脳症（BSE）及び人獣共通感染症の制圧のための技術開発

1 趣旨

BSEに関しては、平成14年4月の「BSE問題に関する調査検討委員会」報告及び同年7月に施行された「牛海綿状脳症対策特別措置法」において、BSE研究についても研究体制を整備・強化し、BSE発生メカニズムの解明を急ぐべきとされたところである。

BSE研究については、プリオン蛋白質の性状解明、プリオン病の病態解明とBSE診断技術の開発を行うとともに、環境中の異常プリオン蛋白質の動態解析・不活化技術の開発等を内外の研究機関等との連携のもと実施する。

また、主要な人獣共通感染症については、病原体の変異・増殖機構の解明及び家畜の感染症の発病・伝播防止技術の開発を行うとともに、媒介動物一家畜での病原体の感染・増殖・排出メカニズムの解明及びサーベイランスのための簡易・迅速診断技術の開発を実施し、国内発生時における国民の不安解消と畜産業への影響軽減に資する。

2 内容

(1) BSE等動物プリオン病の制圧のための技術開発

- ①プリオン蛋白質の性状解明
- ②プリオン病の病態解明と診断技術の開発
- ③環境中の異常プリオン蛋白質の動態解析及び不活化技術の開発

(2) 人獣共通感染症の制圧のための技術開発

(ア) 家畜

- ①人獣共通感染症病原体の変異・増殖機構の解明
- ②人獣共通感染症の発病・伝播防止技術の開発

(イ) 媒介動物一家畜

- ①人獣共通感染症病原体の媒介動物一家畜での感染実態と感染機構の解明
- ②人獣共通感染症の簡易・迅速診断技術の開発

3. 実施主体 独立行政法人、大学、民間企業、公立試験研究機関等

4. 実施期間 平成15年度～平成21年度

5. 平成18年度概算決定額 857（870）百万円

(担当課：農林水産技術会議事務局 地域研究課)